

図書館だより



図書館♪



ブックハンティング♪



目次

- 図書館トピックス・教員コラム……………P2
- ブックハンティングを実施しました！……………P3
- 学生図書委員による多読図書の紹介……………P4-5
- びぶりお文学賞受賞・私の国の図書館……………P6
- 教職員執筆図書紹介……………P7
- 2016年貸出状況まとめ・学生図書委員長コメント……………P8



図書館ピックアップ

■図書館開放

2016年はオープンキャンパス(7/23)、高専祭(11/5・6)に図書館を開放しました。趣向を凝らした図書館クイズ、利用者証の発行サービス等を実施し、計741名の来館者がありました。沖縄高専図書館は一般の方へも開放しており、通常期は土曜日も開館しています。もちろん平日も利用できますので、お気軽にお越しください。



■「洋画から始めるシャドーウィング」講座開催

7月23日(土)に本校図書館において、一般市民を対象に公開講座「洋画から始めるシャドーウィング」を開催しました。これまでは「英語多読」を中心に行ってききましたが、今回は洋画の教材を使用しながら、総合科学科英語担当の先生方の指導のもと、シャドーウィングの方法などを学びました。幅広い年代の方が参加し、充実した時間を過ごしました。



■「ほん屋」配信

今年度から図書館の学生アルバイト・学生図書委員が中心となり学生による学生のための図書館発行紙『ほん屋』を学内配信しています。本校の教職員・学生問わず様々な人にオススメの図書をインタビューするという内容となっています。

図書館入り口の掲示板にも掲示していますので、是非ご覧ください。



■図書館企画

今年も、図書館ではさまざまな書架企画を行いました。5月に企画した「私の選ぶ一行」では、利用者の心に残る本の一文を募集・掲示しました。また、6~7月には夏の風物詩「ホラー作品」をテーマにした掲示を行うなど、利用者参加型の企画が目立ちました。その他、第22~27回の「伊藤園新俳句大賞・入賞作品」を展示するなど、学生の活動を紹介する掲示を行いました。



■ホームページリニューアル

今年から、図書館のホームページをよりシンプルに、見やすく、快適にご利用いただけるようにリニューアルしました。ページの上部に図書館からの「お知らせ」に書架企画・イベントや連絡事項の情報を随時更新しておりますので、是非ご覧ください。



教員コラム

私の書棚

第9回 木村 和雄(総合科学科)

「私の書棚」は本人や研究室と同様に悲惨で、専門書と雑誌ばかりだから面白味が無い。特に文芸モノはダメなのだ。ならいっそ、このコラムの趣旨とは真逆に、自分史上最も虚しい読後感ゆえ、速攻で本棚から追い出した、井上ひさしの大著(講談社文庫で全5巻3300頁!)「四千万歩の男」のことも書いてみよう。



井上は前世紀に一世を風靡した劇作家だ。迂闊にもその作品を手にとったのは、主人公が伊能忠敬だからだ。齢五十を過ぎ本業を隠居してから、日本最初の実測地図「大日本沿海輿地全図」を作成したこの江戸時代人は、良くも悪くも日本の測地学や天文学の原点だ。また彼と関わった人々、例えば幕府天文方の面々や出入りの職人たち、調査先で触発されて最先端に挑んだ地方の民間学者たちの物語は、近代科学の芽生えとして興味深い。その足取りを人気戯作者は「四千万歩」と表した。実に良いコピーだ。ところが、読めども私好みの逸話は出てこない。賢い井上先生は伊能を愚直と評しつつ、ドタバタ描く。愚鈍な地理屋は冗長な言い回しに苛立つ。

こういうハナシなら、わざわざ伊能をネタにしなくても、弥次喜多とか水戸黄門がある。それに咄にはオチが必要だけど、奔放な井上大先生は一千万歩ほどで筆を置いてしまうのだ。正しく戯作、秀逸過ぎるコピーはペテン。やはり私は専門書やノンフィクションでも読んでいる方が良さそうだ。

ブックハンティングを実施しました！

場所：ジュンク堂書店(那覇店)

2016年11月7日(月)、図書館の一大イベントである「ブックハンティング」を実施しました！学生図書委員はクラスで希望があった本のほか、書店に並んでいる本から興味のあるものをじっくりと探し、今年は小説から専門書まで幅広いジャンルの本が「**241冊**」選ばれました。学生の意見が図書館に直接反映されるブックハンティングは、毎年とても人気なイベントとなっております！



ジュンク堂にて探索中！
気になる本は見つかったかな？



呉屋 祐輔(機械システム2年)

私は、初めて2年生で図書委員になってジュンク堂へブックハンティングに行きました。どんな本があるか分からないので早歩きで全て見て回り、注文したい本は私自身どの本を選べばいいのかわからないので、中学のとき図書館にあった本を選びました。それ以外にも興味を引く本が沢山あり、これだけで図書委員になって良かったと思いました。本好きでジュンク堂へ行ったことのない方は2017年図書委員になってみてはいかがでしょうか。

與座 克明(機械システム4年)

私は授業の課題やレポート作成のために調べ物をするとき、まずネットを、次に図書館の本をあさっています。ですが、図書館にある本では知りたい情報が得られないこともあります。ブックハンティングでは、ジュンク堂の豊富な品揃えの中から選べるので、この本があればもっと楽に勉強できたと思う本が見つかり、そういった本を購入してもらいました。自分の選んだ本がほかの学生の役に立ってくれたら嬉しいです。

ブックハンティングの感想 By 学生図書委員

伊佐 志琉(メディア1年)

去る11月7日、私はBHでジュンク堂に行きました。私自身ジュンク堂に行くのは今回が初めてで、どんな場所なのか全くわかりませんでした。そんな無知な状態でジュンク堂に到着し中に入った私は、圧倒的な本の多さに驚かされました。参考書や小説などの本が棚にぎっしりと詰まっていた、どんな本があるのか探すだけでも一苦労だったけど、そのおかげでいろんな本に出会うことができました。短い時間ながら、とても楽しく有意義に過ごすことができました。

與那覇 一真(メディア2年)

私がブックハンティングで驚いたことは、ジュンク堂に本を選びに行ったことです。ジュンク堂は那覇にある大きな書店で、一階には文庫本、二階には漫画や参考本が並んでいます。本の量は普通の書店の倍以上はあり、専門分野の本も充実していました。また、学校で貸し出す本を自分の手で探し出す作業はとても面白く、図書委員としてのやりがいを感じました。



図書館にて選書した本の飾りつけ！
学生図書委員、バイト生も参加して完成しました！





おすすめ多読図書紹介

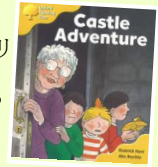


沖縄高専図書館には約1万6千冊もの多種多様な多読図書が揃っています。英語の授業のために利用するのはもちろん、親子で多読学習をする学外者の方にも人気です。今回は、多読図書の中でも「是非読んでほしい！」という本を、本校の学生に紹介してもらいました！

「Castle Adventure」(837.7/093/TR5)



天久 奈菜(生物5年)



多読は、まず簡単な英文の本から始め、徐々に難易度を上げていくことがおすすめです。簡単な英文のシリーズがORTシリーズです。このシリーズの中でもKipper、Biff、Chip達3兄妹とその両親、そして友人たちの生活を描いたり、時には魔法のカギを駆使して魔法の世界に行ったりする話が楽しく読めます。特に面白い内容の本は、「Castle Adventure」です。3兄妹がもつ魔法の鍵で冒険をする話なのですが、そこに3兄妹の祖母が加わり、お城の中を探検するという内容です。この魔法の鍵を使った冒険もシリーズとしてあり、そこでは、大人たちがほとんど冒険に関わることはありません。しかし、この3兄妹の祖母は例外として登場します。内容が気になった人は、ぜひ手に取ってみてください。Kipper、Biff、Chipたち三人とその友人たちが成長した話がORTシリーズのステージ11になります。3人は成長し、幼かった頃の冒険のことなど忘れてしまっていました。そんな時出会ったある人物により、さらなる冒険へと巻き込まれていきます。その冒険は魔法の鍵シリーズとはまた違った魅力ある冒険譚となっています。

英語は少し難しくなりますが、成長した彼らが何を成し遂げるのか読むことができ、今までとは違った物語を楽しむことができます。話がつながっているため、ある程度順を追って読んでいく必要がありますが、基本一冊で内容は完結することが多いです。試しに読んでみてはいかがでしょうか。



「Snow White and Seven the Dwarfs」(837.7/093/CT E3)



多読図書の中には、映画やアニメになっている本もあります。例えば、みんながよく知っている「赤ずきん」や「白雪姫」も多読図書としてあります。タイトルもちろん英語で記されています。

おすすめは、「白雪姫」の内容の一冊で、題名は「Snow White and Seven the Dwarfs」。日本でよく知られている白雪姫とはまた少し違った内容になっています。どちらかというと原作とされるグリム童話に近い話になっており、知っている話との違いを楽しめる一冊になっている事と思います。この他にも童話の多読図書は多数あるので手に取ってみてはいかがでしょうか。

仲本 和至(生物4年)

「Pocahontas」(837.7/093/0B1)



この物語は主人公のポカホンタスの恋愛もので、ディズニーでアニメーション映画にもなっているので見たことある人もいるかもしれません。この話は実際の話が元になっていると聞いたので自分はとても話が気になり読んでみたのですが、話が二転三転してとても面白かったです。ぜひ興味があったら読んでみてください。



「Little Red Riding Hood and other stories」

(837.7/Ko19)

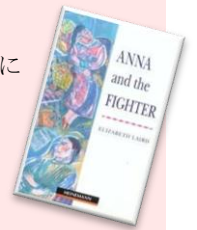
この本は、日本人なら誰もが知っている「赤ずきんちゃん」、「アリババと盗賊」と「都会ネズミと田舎ネズミ」の物語が収録されているので、大まかな内容がわかっているので、すぐ読みやすくわかりやすく、特に多読が苦手という方は最初は大まかな内容がわかっている方が読みやすいのでおすすめです。ぜひ読んでみてください。



「Anna and the Fighter」 (837.7/Ma22/MA2)



與座 克明(機械4年)



僕はこの本について紹介したいと思います。この本は、小さな村に住んでいる女の子アンナが一人で列車に乗り、町に住む叔母に会いに行くというお話です。道中、アンナは列車の中でとある男性と知り合います。この男性は体も大きく、とても怖そうな見た目をしていました。そして偶然目にした新聞には男性の顔写真と「Dangerous Fighter!」の文字。いったいこの男性の正体とは...という内容になっています。この本は語数が2600語と少し多めの語数なのですが、YLが1.2と低めなため難しい文法や単語も少なく、1,2年生からでも気軽に手に取って読んでもらえるようになっています。そしてこの「MMRシリーズ」「MMR2シリーズ」は全体的にYLが低く読みやすい内容となっており、語数も3000前後ととても手軽に読めるシリーズになっています。その中でもこの「Anna and the Fighter」はおすすめの本ですので、是非一度手に取って読んでみてください。

「Long-ago Stories of Japan vol1」 (837.7/Y73/1)



池原 秀(機械3年)



この本は、いわゆる「日本昔話」を英訳したものです。おなじみの桃太郎や金太郎、花咲かじいさんなど、さまざまな日本昔話が載っています。この本は語数も多く、YLも高めです。ですが先ほども言ったとおり「日本昔話」の英訳なので内容は知っている、読んだことのあるものが多く語数やYLに関係なくとても読みやすい本になっています。さらにこの本、タイトルにある通りお気づきの方もいるかもしれませんが、vol1、vol2、vol3の三シリーズとなっているため話も豊富ととても面白いです。そして内容はもちろんのこと、それぞれの日本昔話のタイトルも英訳されているため、面白い訳になっていたりします。例えば桃太郎は「Peach Boy」、金太郎は「Golden Boy」と思わずクスリとなるようなタイトルになっています。ここだけの話、語数稼ぎにはもってこいの、とてもおすすめの一冊です。この本を読んでみたらぜひ他のシリーズも読んでみてください。

「Sleep」 (837.7/W49/MY)



鈴木 明香里(生物4年)



私は「Sleep」という本をお勧めします。睡眠中になぜ夢を見るのか、浅い眠りのときと深い眠りのときの脳波についてなど、睡眠について詳しく説明されている本です。YLが3.0なので、難しく感じるかもしれませんが、写真やイラストがたくさんあるので、それを見ながら単語を理解し、読み進めることができるので読みやすいです。

「Common Colds」

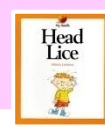
「Head Lice」



「Sore Throats and Tonsillitis」



「Sleep」と同じシリーズから何冊か紹介したいと思います。このシリーズは身近な病気や身体について書かれた興味深い内容ばかりです。その中でも特に私が面白いと思ったのは、風邪についての「Common Colds」、シラミについての「Head Lice」、喉の痛みと扁桃腺についての「Sore Throats and Tonsillitis」です。多読で普段フィクションを読む人や、ちょっとチャレンジしてみたい人にもお勧めです。是非手にとってみてください。



本校学生の紹介した多読図書はいかがでしたか？

気になる本があったら、ぜひ借りてみてくださいね。

もちろんこの他にもたくさんの多読図書があります。ぜひご覧ください！



第10回 びぶいお文学賞

琉球大学が主催する「第10回びぶいお文学賞」では、第8回、第9回に続いて、2名が入賞しました！どちらも翁長志保子先生の「文学概論Ⅰ」の授業で創作した作品です。入賞された仲間さん、島袋さん、おめでとうございます！

第10回 琉球大学 びぶいお文学賞 授賞式



授賞式は2月3日(金)

琉球大学附属図書館で行われました！



おめでとう!

第8回受賞者【詩部門】

金城 絵音 (メディア)

宮里 春奈 (生物資源)

第9回受賞者【詩部門】

川根 慎司 (機械)

古謝 秀人 (メディア)

喜瀬 眞太郎 (メディア)

霞 千明 (生物)

祝

第10回 【詩部門】 佳作

『夏の色』 仲間陽香 (メディア4年)
『虚実面鏡』 島袋 歩 (情報4年)

私の国の図書館

留学生の皆さんの国の図書館の様子を聞いてみました！

(ほぼ原文のまま掲載しています。)



ニヤマスレン バトイレードウー (機械3年) モンゴル出身

3年生機械システム工学科、モンゴルから来たバトイレードウーです。私は自分の国の図書館について書きたいと思います。

モンゴルにもたくさんの図書館があって、例えば国内でみんなが使える大きい図書館があり、学校ごとにも図書館があります。今から自分の勉強していた大学の図書館について書きます。もちろん大学の図書館ですから大きいです。そしてちゃんと守らないといけないルールがあります。たとえば入るときにカードを自動ドアに読ませて入り、図書館職員にカードを預けて、出るときに図書館員から返してもらってから出ます。本を借りる時も「誰がこんな本を借りたか」をパソコンで管理されています。図書館内ルールとしては静かに勉強する、携帯の電源を消す、飲食も禁止ですが、水だけは持ち込み可能です。そしてモンゴルの冬は寒いのでみんな厚手の服を着ますが、図書館に入る時は必ず外でコートなどを脱いでから入ります。本の種類については、その学校の専門によって違います。自分は科学技術大学で勉強していたので、主に技術の本などが多かったです。

私は中国で勉強している友達からも中国の図書館の特徴を聞いたことがありますが、ほとんど同じでした。そして今勉強している沖縄高専にも似たような特徴があるので、世界の図書館はみんな似ているのかなと思いました。

教員執筆図書紹介

図書を出版された先生方ご自身に図書紹介をしていただきました。
紹介されている図書は図書館に所蔵中ですので、是非ご覧になってください。

知念 幸勇 (情報通信システム工学科)

『RFワールド No.36』 (CQ 出版社)

担当箇所 ・「マイクロ波帯高周波回路を設計/実装/評価する 体験研修の現場から」
・「光通信業界の変遷と日系企業のグローバル撤退への懸念」

・沖縄高専で実施したJSTさくらサイエンスプログラムにおける高周波回路設計を学ぶための低雑音増幅器 (LNA) の設計・実装・評価の一連のプロセスを紹介した。使用した EPHEMT の構造・原理、LNA の利得・雑音指数・Sパラメータについての高周波回路シミュレーションと測定値との比較、基板レイアウト、部品実装や電界強度分布測定、IEEE802.11ac コンスタレーション測定などの LNA の応用事例について記述した。(「マイクロ波帯高周波回路を設計/実装/評価する体験研修の現場から」)

・光通信市場の黎明期にグローバルな業務 (製品技術開発、得意認定、販売促進、事業化) に従事し、通信業界におけるマネーゲームによるバブル・M&A に翻弄されながらも、ものづくりスピリッツを忘れなかった当時の業界での体験談を記述。ネットワーク時代の到来、中国ハイテク企業の台頭を感じながら、今後の日本企業のグローバル戦略に一抹の不安があることを記した。(「光通信業界の変遷と日系企業のグローバル撤退への懸念」)



姉崎 隆 (メディア情報工学科)

『電気学会論文誌 D(産業応用部門誌)Vol.136 No.10』 (電気学会)

担当箇所 ・「特集 : Okinawa 型ロボット組み込み/サステナブルシステム」

電気学会 Okinawa 型ロボット・サステナブルシステム協同研究委員会が主催する研究会にて発表された数多くの論文をベースとし、今回の論文誌特集号向けに応募投稿された論文より小職が編集したものです。前回 (2015年2月) の「Okinawa 型ロボット～」特集号に続き第3弾となります。詳細は小職が記した冒頭の解説論文をご覧ください。Okinawa 型ロボット組み込みシステムの取り組みが纏めてあります。厳正な査読を経て13件の論文が採録されています。引き続き、第4弾の論文誌特集号発行を計画しています。ご期待ください。



他にも本校教員がこれまでに執筆した図書が図書館にあります。探してみてくださいね!



図書を出版された教職員の方は、図書館にご寄贈くださいますようお願いいたします。



2016年 貸出状況まとめ

2016年 1~12月



◆貸出ランキングBEST10



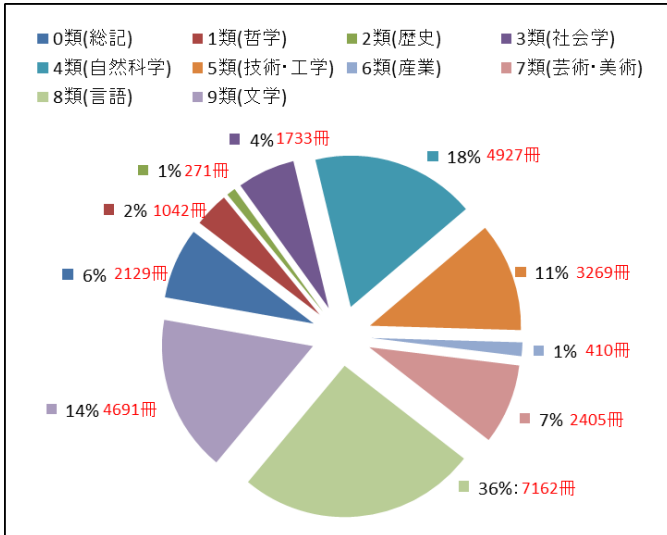
一般図書貸出

順位	回数	書名 / 著者名
1	42	TOEICテスト新公式問題集vol. 6 / Educational Testing Service 著
2	38	Python入門 : 2&3対応 / エスキュービズム [ほか] 著 航空検定出題例・解答解説集 : 楽しみながら航空知識を学ぼう2級/3級
4	37	TOEICテスト新公式問題集Vol. 5 / Educational Testing Service 著
5	35	君の隣臓をたべたい / 住野よる 著
6	34	世界でいちばん簡単なC言語のe本 / 堀江幸生 著 世界のどこでも生き残る完全サバイバル術 / マイケル・S・スウィーニー 著 色鉛筆の新しい技法書 / 河合ひとみ 著
9	33	スバラシク実力がつくと評判の電磁気学キャンパス・ゼミ / 馬場敬之 著 声を出さずに歌が上達するボイス・トレーニング34 / 山田容子 著

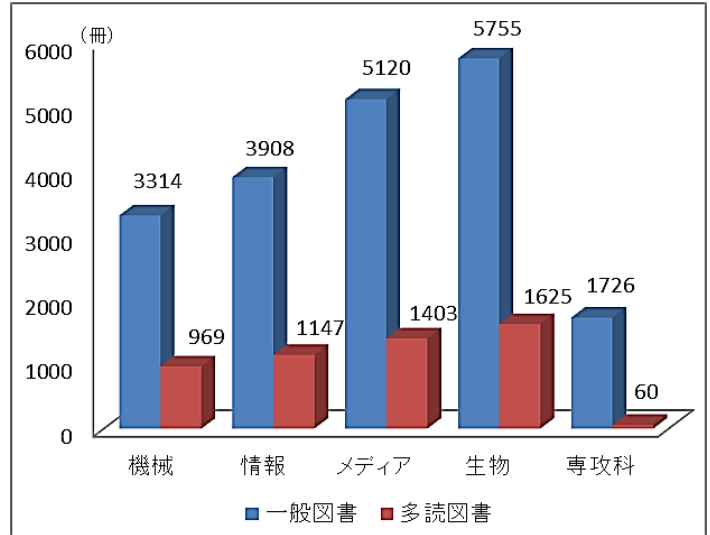
多読図書貸出

順位	回数	書名 / 著者名
1	52	Alice's adventures in wonderland (洋販ラダーシリーズ ; Level 2)
2	46	Pocket money / (Oxford reading tree ; Stage 8, More stories A).
3	44	Viking adventure / (Oxford reading tree ; Stage 8, Stories).
4	42	A day in London / (Oxford reading tree ; Stage 8, Stories).
5	37	What was it like? / (Oxford reading tree ; Stage 8, More stories A).
6	35	Harry Potter and the sorcerer's stone
7	31	Prisoner's dilemma
8	27	Let's party! / (Foundations reading library ; level 7).
9	26	Buying Some Gloves / (洋販ラダーシリーズ ; Level 1)
10	25	Do it! / (Foundations reading library ; level 7).

◆分類別貸出割合



◆学科別貸出状況



学生図書委員長より

義村 尚吾 (情報通信システム3年)

沖縄高専には多くの学生や先生方が同じ時を共有しあって互いに勤勉に過ごしており、その知識の一端を担う施設としてこの図書館があります。そのなかの蔵書をもてみると、多種多様な専門書をはじめとし、他にも小説や多読図書、ひっそりと隠れている沖縄高専にしか存在しない本だったりなど数多くの本があることがわかります。

また、データや言葉ではなく実際の書架に赴き一つの本と向き合ったとき、私は本の物語とは別に「本が体験してきた物語」が見えてくるようでそれが大変面白いと思います。あなたにもぜひ図書館の本を借りて、それを体感してほしいと思います。あなたもその物語を綴る主人公になってみませんか？

学外者の方へ

沖縄高専図書館は、一般の方へも開放しています。また、「利用証」の発行を受ければ、図書の貸出も可能です。「利用証」の発行には身分証(運転免許証等)の提示と「図書館利用願」(図書館カウンターにて配布)への必要事項の記入が必要となります。

どうぞお気軽にご利用ください。



奥付

「沖縄高専図書館だより」(第9号)
発行日:平成29年3月
編集・発行:沖縄工業高等専門学校図書館
〒905-2192 沖縄県名護市市辺野古905番地
TEL:0980-55-4037 FAX:0980-55-4067
図書館ホームページ
<http://www.okinawa-ct.ac.jp/toshokan/>